

平成29年度

第140回

宮崎県の財政



表紙説明

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録

平成29年6月、大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾・大崩山系とその周辺地域がユネスコエコパークに登録されました。

ユネスコエコパーク(正式名称:生物圏保存地域)は、1976年にユネスコが開始した事業で、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的とする取組です。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークは、6つの自治体(宮崎県延岡市・高千穂町・日之影町、大分県佐伯市・竹田市・豊後大野市)のエリアで構成され、急峻な山岳地形や美しい渓谷など、独特の景観美が広がるほか、幅広い植生を有し、ニホンカモシカなどの希少動植物の宝庫としても知られています。

また、そこに暮らす人々は、昔からこの豊かな自然を敬い、守りながら、その恵みを上手に活用して生活してきました。

この魅力ある資源や自然と共生した暮らしを次世代に継承するため、地域が一体となって自然環境の保全や観光・地域の振興に取り組んでいます。

【表紙写真(左列)】

上:ユネスコエコパーク登録決定(H29.6.14)

下:大崩山(湧塚)

第11回全国和牛能力共進会 「宮崎牛」3大会連続日本一

平成29年9月に宮城県仙台市で開催された「第11回全国和牛能力共進会」において、宮崎県は第9回、第10回大会に引き続き3大会連続で最高位となる「内閣総理大臣賞」を受賞し、再び「日本一」の座を獲得しました。

口蹄疫後に造成された種雄牛で挑んだ今回大会において、このような成績を残すことができたことで、全国に向けて口蹄疫からの復興を発信することができました。

また、今回、高校生などの若い担い手が躍動し、その活躍ぶりは将来の本県畜産にとって大変心強く、頼もしさを感じられる大会となりました。

関係者が一致団結し「チーム宮崎」で挑み獲得した日本一の称号は、「宮崎牛」の品質の高さを改めて裏付けるもので、今回の結果を国内外へと発信し、本県畜産の更なる発展につなげられるよう取り組んでいきます。

【表紙写真(右列)】

上:肉牛の部内閣総理大臣賞授与式

下:優等賞1席を獲得した第7区出品牛の行進

ま え が き

景気は緩やかに拡大しているものの、国及び地方は、少子高齢化等に伴う社会保障関係費の増大など大変厳しい財政状況の中、経済再生と財政健全化の両立に加え、人口減少問題への対応が喫緊の課題となっております。

本県においても、県税など一般財源の大幅な伸びが期待できない中、社会保障関係費の増加に加え、防災・減災対策や公共施設の老朽化対策、国体開催に伴う施設整備などに多額の財政需要が見込まれることから、財政状況はさらに厳しさを増していくものと考えております。

このため、「第四期財政改革推進計画」に基づき、引き続き、歳入・歳出両面からの一体的な見直しを行い、収支不足の圧縮や県債残高の削減など、将来にわたって持続的に健全性が確保される財政構造への転換に向けた取組を着実に実施するとともに、県総合計画「未来みやざき創造プラン」及び「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた、新しいゆたかさの実現に向けた様々な施策を推進しています。

この「宮崎県の財政」は、このような県の財政状況を県民の皆様幅広く知っていただくため、年2回公表しているもので、今回は、平成28年度決算の概要及び平成29年度上半期の財政運営の状況等を主な内容としております。

県民の皆様には、この冊子を通じて本県の財政状況について御理解いただき、今後の県政運営に積極的に御助言や御協力を賜りますようお願いいたします。

平成29年12月

宮崎県知事 河野俊嗣

目 次

第1	平成28年度一般会計の決算について	1
1	決算の概要	1
2	歳入の状況	3
3	歳出の状況	10
第2	平成28年度特別会計及び公営企業会計の決算について	25
第3	平成28年度普通会計の決算について	35
第4	平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	37
第5	県民負担の状況について	39
第6	平成29年度予算の現況について	41
1	予算の補正状況	41
2	予算の執行状況	45
第7	県債及び一時借入金の状況について	47
1	県債の状況	47
2	一時借入金の状況	48
第8	県有財産の状況	49
1	公有財産	49
2	基 金	53